

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	6066
-----------	-----------	------

事務事業名 保育所民営化推進事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	子ども政策室	杉本 丈夫	63-2175
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	2	保育サービスの充実
重点施策コード 3-5.子育て・こども支援の充実(待機児童ゼロの実現)			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	196007
一般会計	(中事業名)	
款 民生費	保育所費	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 保育所費	保育所民営化推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
・保育所民営化基本方針及び実施計画により、議会・保護者・地元・職員の理解を得て、公立保育所の民営化推進を行う。 (実施保育所) ・平成22年度 昭和、名張西、東部、西田原保育所 ・平成23年度 桔梗が丘、蔵持、比奈知、滝之原保育所 ・市内社会福祉法人及び学校法人に一般公募し、応募してきた法人の選定を、選定委員会を設置して選定・決定する。 ・移管決定した法人と十分に協議・調整し、移管手続きを行う。	

めざす効果(事業目的)
・民間活力の導入、及び民営化による公立保育所の正職化を図り待機児童の解消を図るとともに、民営化により得られる国・県の補助金を活用することで、例年多様化する保育需要に応える。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・移管先法人選定委員会(3園・各1回開催) ・平成22年度民営化園の建物表題登記及び所有権保存登記(4園実施・640千円)	・移管先法人選定委員会(4園・各1回開催) ・平成23年度民営化園の建物表題登記及び所有権保存登記(4園実施・640千円)	補助金・交付金	その他 ()	
	平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)		
事業費 (千円)	883	725			
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	883	725			
人工数					
職員(人)	1.90	1.30			
臨時職員等(人)					
人件費 (千円)	13,870	9,490			
総費用 + (千円)	14,753	10,215			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	53.7			57.0
	実績						
活動指標	目標	園	-	-	-	-	14
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		平成22年度5月に公立保育所民営化実施計画の見直しを行い、用地等に課題のある一部の保育所については当面の間、公立保育所で運営することとした。					

6. 事業を取り巻く環境

<p style="text-align: center;">事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>近年、全国的に待機児童の問題が深刻化している中、名張市においても、受け入れに係る費用負担が多い低年齢児においてその問題が顕著になっている。厳しい財政状況である本市にとっても、その解決は図っていかねばならない課題である。</p>	<p style="text-align: center;">市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>一定の理解を得られている。</p>
--	--

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか <input type="text" value="実践している(^)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="事業者(^)"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="補助・助成(^)"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である。"/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value=""/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value=""/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行どおり)(理由 (2)へ)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
用地等の課題が整理された際には、民営化をおこなう。	